

## 新人歯科衛生士・デンタルスタッフ ポケットマニュアル

フリーランス/山形歯科専門学校講師  
人見早苗 (歯科衛生士)



新書判/260頁  
定価 3,570円  
(本体 3,400円+税 5%)  
医歯薬出版  
(2012年7月発行)

小粒で可愛らしいこの本は、現場がもっとも重宝する実用書です。歯科医療従事者が活用することで大きく成長する“生きた本”となります。私が本書を読み、そう感じたポイントは、以下のとおりです。

- ① ポケット版なのに、膨大な情報が写真やイラストでわかりやすく解説されていて、一冊に臨床に必要な情報が網羅されています
- ② 各項目に書き込み欄が設けてあり、さまざまな状況で柔軟に利用できます
- ③ 歯科材料等の情報が新しく、書き込みや改訂で更新が可能です
- ④ ポケットに収まり、臨床現場での「わからない」に、即座に対応できます

新人歯科衛生士の臨床デビューは、しばらくはつらいことの連続です。それは、歯科医師が出した指示の意味や理由を理解できるようになるまでに時間を要するからです。その原因は、歯科衛生士養成校のほとんどの授業は科目単位で進み、複合的な問題の関連づけが苦手であることの現れではないかと推測します。また、人間関係で悩むことも経験します。これは、社会人としての気構えが未成熟なままで卒業を迎える人が特に悩むのではな

いでしょうか。生育環境によっては、この気構えをもって入学してくる学生もいますが、まったくない学生もいて、学校教育ですべてをカバーするのは難しいことです。このように社会に出た新人がすぐに離職せず、長く勤務するためには、スタッフ教育を目的とした自院のマニュアルの活用が効果的です。しかし、私にも経験がありますが、納得できるマニュアルを作成するには努力を要し、膨大な時間がかかります。本書は、そのマニュアルを作る際の手引書としても最適です。

さて、本書の核となるのが、本編の最初のページに書かれています。それは、「自院の基本理念を知る」ということです。さらにその次のページには、「わたしの歯科医院の理念」という空欄が設けてあり、新人は必ず自院の理念を確認し、書き込んでほしいという著者の思いが伝わってきます。ちなみに、高視聴率のまま終了したNHKの朝の連続テレビ小説「梅ちゃん先生」は、診療室に、“納得いくまで分かり易くご説明します”など、4つの文章を掲げていました。この掲げた紙をじっと見つめて、梅ちゃん先生は開業の苦難を乗り越えたのです。

筆者の江澤先生は、東日本大震災で身元確認活動に心血を注がれ、大変な重責のなかこの本を完成させました。だからこそ、先生の歯科医療に懸ける思いと、将来への問いかけがこの一冊には詰まっているのだと感じました。そういった意味も含め、これからを担う歯科医師や歯科衛生士養成校の資料としてもぜひ活用していただきたい一冊です。